

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東
 コード番号 8215 URL <http://www.ginyama.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 渡邊光潤 TEL 03-6866-0276
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	557	△58.8	△397	-	△349	-	△469	-
2020年3月期第1四半期	1,355	△7.5	44	△61.7	76	△48.5	49	△57.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △246百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 9百万円 (△97.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△272.27	-
2020年3月期第1四半期	28.89	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2021年3月期第1四半期	4,529		2,498		55.2	
2020年3月期	4,604		2,745		59.6	

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,498百万円 2020年3月期 2,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点におきまして合理的に算定することが困難なため、未定としております。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1 Q	1,804,471株	2020年3月期	1,804,471株
② 期末自己株式数	2021年3月期1 Q	79,218株	2020年3月期	79,218株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1 Q	1,725,253株	2020年3月期1 Q	1,725,350株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急事態宣言による商業施設等の営業休止や営業時間の短縮、不要不急の外出自粛要請による消費マインドの低下等により過去に類を見ない経済状況となりました。

当社はこのような厳しい経営環境の中、仕入の抑制や固定費の削減等に取り組み、一方、感染症拡大を防止するために細心の注意を払いながら、密集を避けるための販売活動やお客様用の手指消毒用器具や飛沫防止シートの設置など感染防止対策を行い販売してまいりました。また、自社グループ縫製工場製作のマスクを従業員に着用させるなどお客様への安全・安心を努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高557百万円(前年同四半期比58.8%減)となり、オーダーメイドスーツの受注数量も前年同四半期比55.2%減となり、主要3工場の生産活動へ影響し売上総利益率は30.9ポイント悪化しました。販売費及び一般管理費は全ての固定コスト等見直しに努めましたが、経常損失は349百万円(前年同期は経常利益76百万円)となりました。7月13日の取締役会で北海道工場の閉鎖を決定したことによる減損損失及び事業整理損を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は469百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益49百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

小売事業

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急事態宣言により、商業施設店舗等の営業休止や郊外型店舗の営業時間の短縮・休日、不要不急の外出自粛要請による消費マインドの低下等により小売事業は大きく客数減少となり売上高、営業利益ともに減収減益となりました。

その結果、売上高は292百万円(前年同四半期比64.3%減)、営業損失134百万円(前年同四半期営業利益85百万円)となりました。

卸売事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、展示会が中止となり営業活動も自粛したことにより売上高は販売件数が減少したことによる影響により減収減益となりました。

その結果、売上高97百万円(前年同四半期比64.4%減)、営業損失65百万円(前年同四半期営業損失19百万円)となりました。

受託縫製事業

オーダーメイドスーツの受注数量減少による縫製事業の生産活動への悪影響により生産体制が取れずマスク・防護ガウン等縫製しましたが大幅な減収減益となりました。

その結果、売上高333百万円(前年同四半期比56.0%減)、営業損失195百万円(前年同四半期営業損失11百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して75百万円減少し、4,529百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末と比較して236百万円減少しました。受取手形及び売掛金が前連結会計年度末と比較して減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して161百万円増加しました。これは主に投資有価証券の時価の増加によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して171百万円増加し2,030百万円となりました。これは、主に3億円の借入金の実行によるものであります。

純資産の部においては、主に親会社株主に帰属する四半期純損失469百万円の計上をした結果、当第1四半期連結会計期間末の株主資本は、前連結会計年度末と比較して469百万円の減少となりました。

また、その他有価証券評価差額金は223百万円の増加でありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響による業種間格差が激しく景気回復・個人消費につきましては先が見えない状況であります。現時点においても新型コロナウイルス感染症は、完全な解決の時期が見込めない状況にあります。今後の環境も依然として不透明な部分が多く、2021年3月期の連結業績予想の合理的な算定は困難であるため、未定としております。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,200,955	1,233,010
受取手形及び売掛金	520,038	242,096
商品及び製品	212,227	193,427
仕掛品	16,446	19,745
原材料	149,908	167,448
その他	65,750	71,258
貸倒引当金	△2,957	△958
流動資産合計	2,162,369	1,926,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	200,839	195,039
その他（純額）	291,649	230,179
有形固定資産合計	492,488	425,218
無形固定資産		
その他	92,667	93,712
無形固定資産合計	92,667	93,712
投資その他の資産		
投資有価証券	1,032,351	1,263,090
敷金及び保証金	695,841	693,877
繰延税金資産	1,979	-
その他	136,399	136,883
貸倒引当金	△9,128	△9,128
投資その他の資産合計	1,857,443	2,084,722
固定資産合計	2,442,599	2,603,653
資産合計	4,604,968	4,529,681
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,511	136,942
未払法人税等	18,711	8,024
ポイント引当金	48,934	42,281
資産除去債務	24,000	36,189
その他	604,454	534,932
流動負債合計	881,611	758,370
固定負債		
繰延税金負債	52,843	60,265
長期借入金	-	300,000
役員退職慰労引当金	106,172	107,823
退職給付に係る負債	567,996	571,883
資産除去債務	215,079	200,882
その他	35,840	31,683
固定負債合計	977,932	1,272,538
負債合計	1,859,544	2,030,909

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
利益剰余金	149,209	△320,522
自己株式	△81,325	△81,325
株主資本合計	2,795,445	2,325,713
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	△50,021	173,058
その他の包括利益累計額合計	△50,021	173,058
純資産合計	2,745,424	2,498,772
負債純資産合計	4,604,968	4,529,681

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
売上高	1,355,261	557,988
売上原価	654,159	441,631
売上総利益	701,102	116,356
販売費及び一般管理費	656,912	513,451
営業利益又は営業損失（△）	44,189	△397,094
営業外収益		
受取利息	28	209
受取配当金	24,457	25,128
助成金収入	1,650	17,363
受取手数料	4,802	2,541
雑収入	1,402	2,803
営業外収益合計	32,341	48,046
営業外費用		
支払利息	169	159
雑損失	102	-
営業外費用合計	272	159
経常利益又は経常損失（△）	76,258	△349,207
特別損失		
減損損失	5,201	56,932
事業整理損	-	54,494
特別損失合計	5,201	111,426
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	71,056	△460,634
法人税、住民税及び事業税	18,173	6,935
法人税等調整額	3,042	2,162
法人税等合計	21,215	9,097
四半期純利益又は四半期純損失（△）	49,840	△469,731
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	49,840	△469,731

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,840	△469,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,196	223,080
その他の包括利益合計	△40,196	223,080
四半期包括利益	9,644	△246,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,644	△246,651

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	820,119	272,667	261,394	1,354,181
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	496,848	496,848
計	820,119	272,667	758,243	1,851,030
セグメント利益又は損失(△)	85,862	△19,654	△11,749	54,459

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	54,459
棚卸資産の調整額	1,354
その他の調整額	△310
全社収益(注1.)	73,828
全社費用(注2.)	△85,142
四半期連結損益計算書の営業利益	44,189

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「受託縫製事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び営業所で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び営業所について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として5,201千円特別損失に計上いたしました。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく評価額がマイナスであるため、回収可能価額は零として算定しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	292,715	97,057	167,136	556,908
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	166,572	166,572
計	292,715	97,057	333,708	723,481
セグメント利益又は損失（△）	△134,662	△65,698	△195,244	△395,604

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△395,604
棚卸資産の調整額	1,316
その他の調整額	-
全社収益(注1.)	73,519
全社費用(注2.)	△76,325
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△397,094

（注1.）全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

（注2.）全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

閉鎖を決定した北海道工場の資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「受託縫製事業」593千円、各報告セグメントに配分していない全社資産56,339千円であります。なお、回収可能価額は、正味売却価額で測定し、零として算定しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。